

がくどうほいく ふなばし



2007年度 第1号 市連協だより 2007年4月26日発行

船橋市学童保育連絡協議会 事務所 船橋市南本町31-5 047-433-9266

<http://homepage2.nifty.com/fghrk/>

楽しく始めよう父母会活動

ご入学、ご進級おめでとうございます。

4月に入ってすでに1ヶ月が過ぎようとしています。子どもたちは毎日楽しく放課後ルームに通っていますか？ 1年生で初めて放課後ルームにお子さんを通わせる父母にとっては、本当に不安な毎日だったと思います。

この「がくどうほいく ふなばし」は、放課後ルームに子どもを通わす父母の情報交換、交流を目的として発行しています。

今年度もさまざまな情報を発信していきます。

はじめに

船橋市の学童保育は、2000年4月1日から、それまでの運営委員会委託方式（学童保育に子どもを預ける保護者や地域の支援者がお金を出し合い、民営で運営していた方式）から、船橋市が運営する公設公営方式に移行しました。（船橋市は学童保育のことを放課後ルームと呼んでいます。）

この方式のもとで、放課後ルームでの子どもたちの生活をより豊かなものにしていくために、「父母はルームとどうかかわるか」「父母会の役割はどういうものか」「父母会をつくって楽しく運営していくためにはどうしたらよいか」などについて一緒に考えて見ましょう。

学童保育（放課後ルーム）とは

共働き・母子・父子家庭の子どもたちは、小学校から帰った後の放課後や、春・夏・冬休みなどの学校休業日には子どもたちだけで過ごすこととなります。父母が働いている間、子どもたちが安全で充実した生活を送ることができるようにとの願いから、学童保育は作られてきました。

現在船橋市の公設公営の放課後ルームは、保護者が働いていたり、病気で入院しているなどのために、放課後家庭で子供だけになってしまう小学校1年生～3年生の児童に遊びと生活の場を用意して、子供たちの心身の発達を促していくことを目的としています。（船橋市放課後ルーム条例）

開所時間は、授業がある（月）～（金）は下校時～午後7時00分、平日で学校がお休みの日（振替休日、春・夏・冬休み）は、午前8時00分～午後7時00分です。

放課後ルームには、入所している児童数に応じて指導員（船橋市非常勤職員）が配置され、各地区の児童ホームの園長が各放課後ルームの代表者を兼務しています。

父母と放課後ルームのかかわり合いは？

子どもたちは保育園や幼稚園に通っていたときと違って、小学校に登校するのと同様に、自分自身で放課後ルームに通わなくてはなりません。また日々成長し変化している子どもたちは、さまざまな思いを持って、さまざまな状況を抱えて、放課後ルームに通ってきます。中には、親や指導員に内緒でこっそりお家に帰ってしまう子もいます。ですから親が子どもの生活している様子を知ること、そのために指導員とよく話し合うこと、そして子どもが安心して楽しく通えるような環境を作っていくことは、子どもが継続して放課後ルームに通うためには欠かすことのできないことではないでしょうか。子どもたちが放課後ルームで豊かな生活を送っていくために、子どもたちを真ん中において、父母と指導員が話し合い、協力し合っていくことが大切になります。

父母会の役割は？

父母会は放課後ルームに子どもを通わせている父母（保護者）の自主的な組織で、まずは父母同士が交流するところから始まります。子どもが通っている同じ放課後ルームの父母が知り合い、お互いの子育てを交流することで、働きながらの子育てをいっそう豊かにすることができます。

父母会は一人ひとりの父母が、放課後ルームでの子どもの生活を知る場であり、子ども同士のけんかやトラブルが生じたときにみんなで話し合う場であり、子どもたちに放課後ルームでどのような生活を過ごしてほしいかを話し合う場でもあります。

また悩みや願いを持ったとき、どうすれば解決できるのかを話し合う場でもあります。

さらに、子どもたちが楽しく過ごせるように放課後ルームの運営に協力したり、父母が協力し合って楽しい行事を行ったり、行政に改善を要望するときにも父母会は大きな力を発揮します。

父母会をつくり、楽しく活動していきましょう

まだ父母会ができていないルームではぜひ父母会をつくり、すでに父母会のあるルームではできるだけ多くの父母が参加して、創意工夫を発揮して活動していきましょう。

指導員と父母が定期的に話し合う場をつくりましょう。

父母会活動の第一歩は、放課後ルームの指導員とふだんから気軽に話ができる環境を作ることです。指導員とふだんから交流し、昼間の子どもたちの様子を理解することは、日々変化成長する子どもたちを理解するうえでとても大切なことです。

そのためには、放課後ルーム主催の保護者会を活用するのも良いでしょう。ただし、各ルームでの保護者会の開催頻度には大きなばらつきがありますので、2～3ヶ月に1回程度は、定期的に関くよう父母会として積極的に園長や指導員に働きかけましょう。

また自主的に開催する父母会の会合にも、指導員の参加を呼びかけ、機会があるごとに放課後ルームでの子ども様子が聞ける環境づくりに努めましょう。

子どもたちがルームでの生活を楽しく送れるように応援しましょう。

子どもが楽しくて行きたくなるようなルームであってほしいものです。親子歓迎会、キャンプ、もちつき大会などの行事は、ルームでの生活をさらに豊かにします。放課後ルーム主催の行事、父母会主催の行事などさまざまな活動を通して、子どもたちがルームでの生活を楽しく送れるように応援しましょう。

また子どもたちの生活を豊かなものにするために、本や遊具・備品を提供するなど、協力できることはやっていきましょう。

船橋市学童保育連絡協議会（市連協）とは

市連協とは、船橋市の放課後ルームに通う子どもを持つ父母、放課後ルームで働く指導員、OB、および連協活動に賛同していただける個人・団体から構成されており、放課後ルームでの子どもたちの生活をより豊かなものにしていくために父母と指導員の活動を応援する組織です。

毎月行われる市連協定例会で、ルーム間の交流と情報交換をはかり、放課後ルームの整備拡充のために以下のような活動を行っています。

船橋市連協主催の毎月開催している定例会、秋に行う「がくどうまつり」、船橋の教育関係団体で行う「輝け船橋の子どもたち」、千葉県連協主催の研究集会、全国学童連協主催の研究集会の取り組みなどで、情報交換と交流をはかります。各ルームからの声を集約し、共通する問題点を整理し、改善を行政に要望しています。特に待機児童解消のために放課後ルームの増設の要望を毎年行い、昨年度も5ルームの増設が実現しました。

父母会のないルームに父母会作りの支援をしています。全員参加の父母会でなくても、協力し合える有志だけでも父母会をつくることができます。父母会を作るために何が必要か、作ることでどんなことができるかなど、市連協ではさまざまなバックアップを行っています。また、市連協の定例会に参加し、他のルームの父母と交流することで子育てに関するいろいろな情報を入手することができます。市連協には各放課後ルームの父母会単位でも、個人でも加入できます。

2006年度は、各ルームの現状と課題を交流する定例会をほぼ毎月開きました。また、行政との懇談会も2回開催し、各ルームの現状を直接行政に伝える場を提供しました。さらに市へ要望書を提出してよりよい放課後ルームをつくるために活動してきました。今後もよりよい放課後ルームをつくるために、父母、指導員の活動を応援していきます。

2006年度の
がくどうキャンプ
(白浜少年自然の家)

今年も同じ場所で行います。



'07がくどうキャンプのお知らせ

2007年がくどうキャンプを今年も予定しています。

期 間 **8月4日(土)～5日(日)**

場 所 **白浜少年自然の家**

場所は昨年と同じですが内容は進化します。

お楽しみに！！

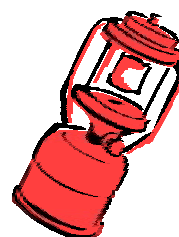
申し込み方法については別途お手紙やホームページでお知らせします。



高学年がくどうキャンプ

今年、初めて行う子どものみ参加のキャンプです。

参加対象は、船橋市学童保育連絡協議会会員及びOBで小学3年～6年生までとします。(キャンプ申し込みと同時に会員登録可能です。)



期 間 **7月27日(金)～29日(日)**

場 所 **群馬県水上町・立教大学ワングエル部山荘**

申し込み方法については別途お手紙やホームページでお知らせします。

5月定例会のお知らせ

5月25日(金) 19:30～ 女性センター

女性センターは、船橋駅南口徒歩12分、本町通を大神宮方面に行き、京成の高架の手前右側です。駐車場はありませんので、近隣のコインパーキングをご利用ください。

船橋市児童育成課との懇談会のお知らせ

5月16日(水) 19:00～ 市役所11階大会議室

途中参加、途中退出OKですので、たくさんの方の参加をお待ちしております。